

～いちご観光農園の経営に魅せられて～
柳澤 清一さん（伊予市）

伊予地区イチゴ研究会

1976 年生まれ

フェイスブック

<https://m.facebook.com/marustrawberryfarm>



☆経営概況☆

観光いちご園を中心とする経営を展開。10aのいちご園では「紅い雫」や「あまおとめ」、「かおり野」などを栽培し、1月下旬から5月下旬までいちご狩りが楽しめます。

夏季は各地域のイベントに参画し、いちごのスムージーを販売する6次産業化にも取り組んでいます。また、いちご栽培の合間の栽培品目として水稲46aとイチジク3aを栽培しています。

☆ここがポイント

■就農までの経緯

38歳で就農し、現在4年目の新米農業者です。大阪出身で民間企業に勤務していましたが、一念発起して農業の道に飛び込んできました。農業のいろはも分からないため、妻の出身地である愛媛県の農業大学校で2年間基礎をみっちりお勉強。

卒業後、中古のハウス資材等を利用しいちご施設を1年かけ自力施工。就農2年目で観光いちご園をオープンさせることができました。

■消費者にやさしい取り組み

観光いちご園では多くの方が出入りしますので、薬剤散布は極力少なくすることを心がけており、平成29年には「エコえひめ」の認証を取得しています。また、通路も車いすが通れるくらい広く、高齢者や障がい者の方への配慮がなされたいちご園となっています。

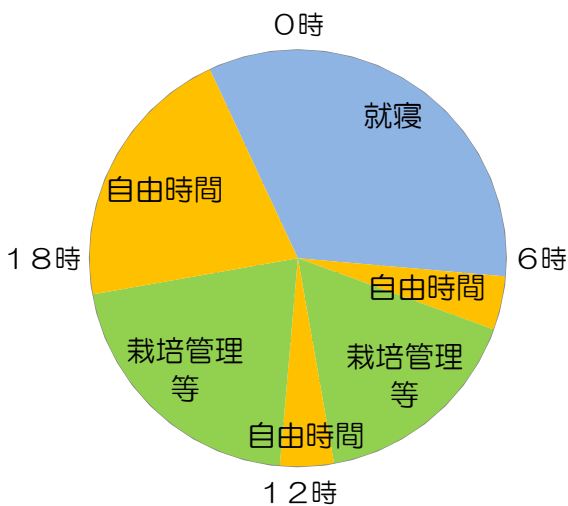


小さなお子さんが来ても対応できます



いちご管理状況、広い通路が目立ちます

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

いちごの収穫がない夏季には、大阪に帰省するなどまとめて休みを取っています。

普段の休日は、いちご農家を訪ねて情報交換したり、青年農業者の活動に参画しリフレッシュしています。

観光いちご園やイベント出店時のお客さんとの対話が楽しいひとときであり、心を癒されています。

【1週間のライフスタイル】（一例）

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	休日は不定期（作業が落ち着いたときや用事ができたときが休日）					
← 栽培管理・収穫・出荷など →						
【普通期】	← 栽培管理・収穫・出荷など →					
						← 休日 →



青年農業者仲間と諸行事参加



収穫間近となったいちご

☆これからの夢や目指すもの☆

都会には農業に魅力を感じ農業経営に挑戦したいと思っています方が多くいます。そのような方々の目標となれるよう、観光農園を主体とする経営を成功し、**1ターンでの就農希望者の良き相談相手になりたい**と思っています。

また、就農してから地域の農業者の方々から「うちの農地も管理してほしい」との要望等も多く、地域貢献のためにも出来る事からチャレンジしたいと考えています。

☆メッセージ☆

私のように新規参入で、ゼロから農業を始めようとする方へ！！

自身の目標を明確にしたうえで、**1～2年の準備期間を設け農業に挑戦してください。**